

中期目標と中期計画（素案）の対応表

中期目標	中期計画（素案）
<p>前文</p> <p>埼玉県立循環器・呼吸器病センター、埼玉県立がんセンター、埼玉県立小児医療センター及び埼玉県立精神医療センター（以下「県立病院」という。）は、それぞれの専門性に応じて全県を対象とした高度専門医療等を提供し、県民の健康を支える上で極めて重要な役割を担ってきた。</p> <p>しかし、少子高齢化や疾病構造の変化などに伴う県民の医療ニーズの多様化・高度化、地域医療構想や地域包括ケアシステムの進展、社会保障制度改革の要請など県立病院を取り巻く環境は大きく変化している。</p> <p>また、働き方改革による労働者意識の変化、企業側のコンプライアンス意識の向上、AIやIoTをはじめとする技術革新など、社会全体でもめぐるしい変化が起きている。</p> <p>さらに、新型コロナウイルス感染症の患者が県内で多数発生したように、グローバル化の進展により、海外で流行している感染症の国内感染リスクが高まっている状況を踏まえ、新たな感染症などが発生した場合に備えた医療提供体制の整備充実が求められている。</p> <p>県立病院はこうした変化に柔軟かつ弾力的に対応しながら、県民に対し、民間病院では提供できない不採算な小児医療及び救急医療や感染症などの高度専門医療等を将来にわたり安定的かつ継続的に提供していかなければならない。</p> <p>これらの医療環境や社会情勢の変化を鑑みて県では、平成30年6月に医療関係者や有識者により構成する「埼玉県立病院の在り方検討委員会」を設置し、今後の県立病院の在り方について検討を行った。検討委員会では今後県立病院が果たすべき役割や、その役割を果たしていく上での最適な経営形態の検討がなされ、同年11月に「県立病院の経営形態は地方独立行政法人が望ましい」とする検討報告書がまとめられた。県では、検討報告書をもとに検討した結果、県立病院を地方独立行政法人とする方針を決定し、令和3年度から地方独立行政法人埼玉県立病院機構（以下「病院機構」という。）を設立することとした。</p> <p>この中期目標は、地方独立行政法人制度の特長であるガバナンス、人材確保、財務面などの優位性を最大限に活かし、病院機構が達成すべき業務運営の目標や方向性を示すものである。</p> <p>病院機構が県の医療政策として必要とされる高度専門医療等を確実に提供し、医療環境の変化に対応しながら県民の医療ニーズに応える良質な医療を提供するとともに、地域との連携により本県における医療水準の向上に貢献し、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く期待するものである。</p>	<p>前文</p> <p>地方独立行政法人埼玉県立病院機構（以下「病院機構」という。）の責務は、埼玉県の医療政策として必要とされる高度専門医療等を提供するとともに、地域との連携により県内の医療水準の向上に貢献し、もって県民の健康の確保及び増進に寄与することである。</p> <p>近年、少子高齢化や医療技術の高度化、新たな感染症の発生リスクの高まりなど医療を巡る環境は大きく変化しており、病院機構はこのような変化に柔軟に対応しながら、県民の視点に立った医療サービスを提供し、県民の健康を支えていかなければならない。</p> <p>病院機構は、埼玉県知事から示された中期目標の実現に向けて、ここに中期計画を定め、職員一丸となって全力で取り組み、埼玉県立循環器・呼吸器病センター、埼玉県立がんセンター、埼玉県立小児医療センター及び埼玉県立精神医療センター（以下「県立病院」という。）としての公的使命を積極的に果たしていく。</p>
<p>第1 中期目標の期間</p> <p>令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間とする。</p>	<p>第1 中期計画の期間</p> <p>令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間とする。</p>
<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>県の医療政策を推進する上で必要とされる高度専門医療等を提供するとともに、地域の医療機関との連携を図ることにより、県内医療水準の向上に貢献し、県民の生活の安心を高めていくこと。</p>	<p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>病院機構は、埼玉県の医療政策として必要とされる高度専門医療等を提供し、県内の医療水準の向上に貢献するとともに、地域医療機関との連携を進め、県民の健康の確保と増進に努める。</p>
<p>1 高度専門・政策医療の持続的提供と地域医療への貢献</p> <p>医療環境の変化や県民の医療ニーズ等を踏まえて、先進的医療をはじめ質の高い高度専門医療等を安定的かつ継続的に提供すること。</p> <p>また、新たに発生する医療課題や医学・医療の発展に迅速に対応すること。</p> <p>さらに、医療水準の向上のための調査、研究及び教育研修を行うとともに、他の医療機関との連携を図り、地域医療への支援と貢献を行うこと。</p>	<p>1 高度専門・政策医療の持続的提供と地域医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立病院の有する医療資源を効率的に活用し、それぞれの病院機能に応じた質の高い医療をより多くの県民に持続的に提供する。 ・ 医療水準の向上のための調査、研究及び教育研修を行うとともに、新たな医療課題やAI・IoTをはじめとする技術革新に速やかに対応する。 ・ 在宅医療への移行や緊急時の後方支援など地域包括ケアシステムの構築に資する取組を行う。 ・ 地域における医療ニーズに適切に対応するため、病病連携・病診

中期目標	中期計画（素案）																														
	<p>連携・病棟連携の強化を図り、地域医療機関との連携並びに機能分担を推進し、患者の紹介率・逆紹介率の向上に努める。</p> <p>【目標値】紹介率</p> <table border="1" data-bbox="1079 365 1856 575"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和7年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環器・呼吸器病センター</td> <td>75.9%</td> <td>85.0%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>98.1%</td> <td>98.0%</td> </tr> <tr> <td>小児医療センター</td> <td>84.4%</td> <td>85.0%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>48.1%</td> <td>58.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【目標値】逆紹介率</p> <table border="1" data-bbox="1079 664 1856 875"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和7年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環器・呼吸器病センター</td> <td>77.5%</td> <td>80.5%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>58.9%</td> <td>64.0%</td> </tr> <tr> <td>小児医療センター</td> <td>40.9%</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>61.8%</td> <td>62.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和元年度実績	令和7年度目標	循環器・呼吸器病センター	75.9%	85.0%	がんセンター	98.1%	98.0%	小児医療センター	84.4%	85.0%	精神医療センター	48.1%	58.0%	病院名	令和元年度実績	令和7年度目標	循環器・呼吸器病センター	77.5%	80.5%	がんセンター	58.9%	64.0%	小児医療センター	40.9%	50.0%	精神医療センター	61.8%	62.0%
病院名	令和元年度実績	令和7年度目標																													
循環器・呼吸器病センター	75.9%	85.0%																													
がんセンター	98.1%	98.0%																													
小児医療センター	84.4%	85.0%																													
精神医療センター	48.1%	58.0%																													
病院名	令和元年度実績	令和7年度目標																													
循環器・呼吸器病センター	77.5%	80.5%																													
がんセンター	58.9%	64.0%																													
小児医療センター	40.9%	50.0%																													
精神医療センター	61.8%	62.0%																													
<p>(1) 埼玉県立循環器・呼吸器病センター</p> <p>循環器・呼吸器系疾患の専門病院として高度専門医療を提供するとともに、専門領域の救急医療などの充実に努め、県北地域の医療を支えること。</p> <p>特に、脳卒中や心筋梗塞をはじめとする緊急性の高い疾患に対し、24時間365日体制の高度な救急医療を提供すること。</p> <p>第二種感染症指定医療機関として感染症医療を提供すること。</p> <p>地域の関係機関と連携し、緩和ケア医療を推進すること。</p> <p>地域医療支援病院として、地域医療を担う医療従事者への教育・研修を通じて、地域の医療機能向上に貢献すること。</p>	<p>(1) 埼玉県立循環器・呼吸器病センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 循環器・呼吸器系疾患の専門病院として高度専門医療を提供するとともに、県北地域の急速な高齢化に対応した医療機能や専門領域の救急医療などの充実に努める。 埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク（SSN）基幹病院として、脳卒中患者を積極的に受け入れる。 消防本部との連携を強化し、心筋梗塞をはじめとする緊急性の高い救急患者に24時間365日対応する体制をとり、救急隊からの患者受入要請に応える。 全ての診療科において、患者の病態に合わせ、低侵襲かつ安全で質の高い医療を提供する。 第二種感染症指定医療機関として、結核や新型インフルエンザをはじめとする感染症医療を提供するとともに、新型コロナウイルスのような新たな感染症にも対応する。 地域の関係機関と連携し、緩和ケアに対する患者や医療従事者の理解を深め、適切な緩和ケア医療を推進する。 地域の医療従事者を対象とした公開研修を積極的に実施するなど地域間における医療機能の向上と連携に努める。 <p>【目標値】公開研修の年間開催回数</p> <table border="1" data-bbox="1079 2009 1856 2095"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和7年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環器・呼吸器病センター</td> <td>49回</td> <td>65回</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和元年度実績	令和7年度目標	循環器・呼吸器病センター	49回	65回																								
病院名	令和元年度実績	令和7年度目標																													
循環器・呼吸器病センター	49回	65回																													
<p>(2) 埼玉県立がんセンター</p> <p>本県の中核的ながん専門医療機関として常に先進的な医療を県民に提供するとともに、都道府県がん診療連携拠点病院の役割を果たすため地域の医療機関と連携し、本県のがん医療水準の向上と均てん化を図ること。</p> <p>低侵襲治療であるロボット支援下手術や高精度放射線治療などの先進的ながん医療の提供に取り組むこと。</p> <p>治験、臨床試験などに精力的に関わり、新規化学療法・治療法の開発導入など臨床研究に取り組むこと。</p>	<p>(2) 埼玉県立がんセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> がん医療の中核的な病院として、難治性がん、希少がんをはじめ、がんに関する高度専門医療を提供する。 都道府県がん診療連携拠点病院として、地域の医療機関と連携し、技術的支援やがん患者や家族に対する相談支援を実施する。 先進的ながん治療として、患者への負担が少ないロボット支援下手術の積極的な導入やがん以外の正常組織への影響が最小限となるような高精度な放射線治療を実施する。 薬剤師や治験コーディネーターなど治験管理室の体制を充実させることで、新規治験の受託件数を増やし、新薬・新規化学療法の開発に貢献する。 																														

中期目標	中期計画（素案）						
<p>がんゲノム医療拠点病院として患者の遺伝子情報に基づく最適な医療を提供すること。</p> <p>高齢化による心疾患や糖尿病等を伴うがん患者の増加に対応するため、総合診療機能の強化を図ること。</p> <p>サルコーマ（肉腫）など希少がんの全県的な受入れを徹底すること。</p> <p>臨床腫瘍研究所における基盤的かつ先端的な研究及び臨床に直結する最先端の専門研究を進め、次世代を担う若手がん研究者の育成に取り組むこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> がんゲノム医療拠点病院として、連携病院とも協力しつつ、がんゲノム医療を積極的に推進する。 総合内科の体制を充実させ、心疾患や糖尿病等の合併症のあるがん患者の受入れを強化する。 サルコーマ（肉腫）、原発不明がん※5など均てん化されない（治療が困難なため対応できる医療機関に限られる状態）希少がんについて、全県からの受入れ体制を充実させる。 臨床腫瘍研究所においては、多角的な視点からがん撲滅につながる専門研究を進め、研究成果を速やかに臨床現場へ繋げることを目指すとともに、将来のがん研究に携わる未来の科学者の育成にも努める。 <p>【目標値】手術支援ロボット（ダヴィンチ）使用件数</p> <table border="1" data-bbox="1077 884 1856 973"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和7年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がんセンター</td> <td>206件</td> <td>400件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和元年度実績	令和7年度目標	がんセンター	206件	400件
病院名	令和元年度実績	令和7年度目標					
がんセンター	206件	400件					
<p>(3) 埼玉県立小児医療センター</p> <p>小児専門病院として高度な小児急性期医療を提供するとともに、隣接するさいたま赤十字病院との連携により胎児から成人まで成長に合わせた医療を提供すること。</p> <p>小児がん拠点病院としての機能をより一層充実、強化すること。 がんゲノム医療、CAR-T細胞療法、小児生体肝移植などの先進的な小児医療を提供すること。</p> <p>小児から成人への移行期医療の総合的な支援機能の構築を図ること。</p> <p>子供たちの健康増進及び疾病予防に取り組む小児保健活動を推進すること。</p> <p>発達支援を推進するため、患者家族、教育・福祉の専門職に対する啓発及び研修の実施に努めること。</p> <p>埼玉県総合医局機構・地域医療教育センターと連携し、医師を地域の拠点病院へ派遣するとともに、地域医療支援病院として将来の小児医療を担う専門医の育成及び人材供給への取組により、地域医療へ貢献すること。</p>	<p>(3) 埼玉県立小児医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児専門病院として、地域医療機関で対応が困難な小児疾患に関する高度専門医療を提供する。 総合周産期母子医療センターとして、さいたま赤十字病院と連携した周産期医療の充実を図るとともに、小児救命救急センターとして小児の三次救急医療を提供する。 小児がん拠点病院として、がんゲノム医療やCAR-T細胞療法を実施し、地域全体の小児・AYA世代のがん医療及び支援に取り組む。 さいたま赤十字病院と連携して小児生体肝移植を行い、高度で先進的な小児医療を提供する。 小児期発症の病気を抱えたまま成人年齢に達した患者が年齢に見合った包括的な医療を受けられるよう移行期医療支援センターの仕組みを活用した取組を推進する。 早期の発見が重要とされる先天性代謝異常等について、県内新生児を対象とした検査を実施し、保健予防に努める。 予防接種においては、基礎疾患や合併症などにより地域での実施が困難な子供のみならず、海外渡航をする子供に対しても実施し、疾病予防に努める。 地域で活動している小児保健関係者に対する情報提供や相談対応を行う。 県内の療育機関等と連携し、発達支援のための教育や情報提供を行う。また、発達や行動特性等の養育の悩みを有する家族に対する教育活動に努める。 県と連携して教育・研修体制の充実を図り、もって将来の小児医療を担う人材の育成により地域医療へ貢献する。 小児のサブスペシャリティ領域専門医（小児血液がん、小児神経、小児外科、周産期・新生児など）の取得を推進し、より高度な医療を提供するための人材育成に努める。 新生児や小児領域の地域医療体制維持を目的とした人的協力を行うことで、地域との連携を進める。 <p>【目標値】小児がん登録数</p> <table border="1" data-bbox="1077 2665 1856 2786"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和7年度目標 (目標期間累計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児医療センター</td> <td>累計78例</td> <td>累計450例</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和元年度実績	令和7年度目標 (目標期間累計)	小児医療センター	累計78例	累計450例
病院名	令和元年度実績	令和7年度目標 (目標期間累計)					
小児医療センター	累計78例	累計450例					

中期目標	中期計画（素案）																														
<p>(4) 埼玉県立精神医療センター</p> <p>県内全域を対象とした精神科救急医療、依存症、児童思春期精神疾患患者、医療観察法対象者、民間医療機関で対応困難な患者等への高度専門医療を提供すること。</p> <p>精神医療の変化に対応し、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおける医療機能の充実と提供に努めること。</p> <p>障害保健福祉圏域などにおける関係機関との役割分担・協働に努めること。</p> <p>埼玉県立精神保健福祉センターと一体的な運営を行うことにより、県民の精神保健の向上並びに精神障害者の福祉の増進及び医療の充実を図ること。</p>	<p>(4) 埼玉県立精神医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 依存症治療拠点機関・専門医療機関として、依存症に係る高度専門医療を提供する。 県内唯一の児童思春期精神科専門病棟を有する医療機関として、児童思春期精神疾患に係る高度専門医療を提供する。 埼玉県精神科救急医療体制の常時対応施設として、自傷他害のおそれのある精神障害者等の急性期の患者に対して救急医療を提供する。 医療観察法に基づく指定医療機関として、対象者に係る高度専門医療を提供する。 精神科診療所の要請に応じて、通院患者の医療中断時の訪問診療、訪問看護や急変時の患者受入れを実施できるよう連携体制を確立し、また、地域の要請に応じて、未治療者へのアウトリーチを行うための体制を検討する。 保健所への医学的助言などの技術協力や普及啓発、教育研修、調査研究等を精神保健福祉センターと協働して企画、実施するなど引き続き一体的な運営を行い、精神保健及び精神障害者の福祉に関する総合的な技術センターとして機能を最大限に発揮する。 <p>【目標値】 依存症プログラムの年間参加延べ人数</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和7年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>6,506人</td> <td>6,600人</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和元年度実績	令和7年度目標	精神医療センター	6,506人	6,600人																								
病院名	令和元年度実績	令和7年度目標																													
精神医療センター	6,506人	6,600人																													
<p>2 患者の視点に立った医療の提供</p> <p>患者の視点に立った病院運営を進めるため、より安心して治療を受けられるよう、分かりやすい説明、相談、情報提供等を行うこと。</p> <p>また、患者等の意見を反映して、より利用しやすい病院運営を目指すこと。</p>	<p>2 患者の視点に立った医療の提供</p> <p>病院と患者及びその家族との相互理解を深めるため、医療情報の提供や患者の利便性を向上させる取組を推進し、患者が自らの治療に主体的に関わることができるような患者の視点に立った医療を提供する。</p>																														
<p>(1) 患者等の満足度向上</p> <p>ア 患者サービスの向上</p> <p>患者の権利を尊重し、信頼と満足が得られる医療サービスを提供すること。</p> <p>患者を対象とした満足度調査を定期的に行い、外来診察や検査及び会計に係る待ち時間の改善、打診から初診までの待ち期間や手術待ち期間の短縮に努めるなど患者サービスの向上に取り組むこと。</p>	<p>(1) 患者等の満足度向上</p> <p>ア 患者サービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者の基本的な権利を尊重するとともに、患者及び家族が医療内容を適切に理解し、安心して治療を選択できるようインフォームド・コンセントを推進する。 患者の視点に立った病院運営を実現するため、患者満足度調査を実施し、改善策を講じる。 患者及び家族の立場に立ったサービスを提供するため、研修等を実施し職員の接客能力の向上を図るとともに、外来診療待ち、予約から初診、検査、手術までの待機日数の短縮に向けた取組を進める。 <p>【目標値】 入院患者満足度</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和7年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環器・呼吸器病センター</td> <td>91.3%</td> <td>92.5%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>89.0%</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>小児医療センター</td> <td>93.4%</td> <td>95.0%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>75.3%</td> <td>80.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【目標値】 外来患者満足度</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和7年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環器・呼吸器病センター</td> <td>78.0%</td> <td>80.5%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>85.3%</td> <td>88.0%</td> </tr> <tr> <td>小児医療センター</td> <td>85.2%</td> <td>87.0%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>84.1%</td> <td>85.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和元年度実績	令和7年度目標	循環器・呼吸器病センター	91.3%	92.5%	がんセンター	89.0%	90.0%	小児医療センター	93.4%	95.0%	精神医療センター	75.3%	80.0%	病院名	令和元年度実績	令和7年度目標	循環器・呼吸器病センター	78.0%	80.5%	がんセンター	85.3%	88.0%	小児医療センター	85.2%	87.0%	精神医療センター	84.1%	85.0%
病院名	令和元年度実績	令和7年度目標																													
循環器・呼吸器病センター	91.3%	92.5%																													
がんセンター	89.0%	90.0%																													
小児医療センター	93.4%	95.0%																													
精神医療センター	75.3%	80.0%																													
病院名	令和元年度実績	令和7年度目標																													
循環器・呼吸器病センター	78.0%	80.5%																													
がんセンター	85.3%	88.0%																													
小児医療センター	85.2%	87.0%																													
精神医療センター	84.1%	85.0%																													

中期目標	中期計画（素案）															
<p>イ 患者支援体制の充実</p> <p>患者とその家族に対して入院から退院まで一貫した支援を行うなど、相談機能を充実すること。</p> <p>入院を予定している患者が安心して入院医療が受けられるよう入院前から支援を行うとともに、患者が安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活ができるよう入退院支援を行うこと。</p>	<p>イ 患者支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者が安心して治療を受けられるよう地域連携・相談支援センター等において、患者とその家族に対して治療や生活上の問題、就労支援等の多様な相談を実施する。 特に、がんセンターについては、がん患者の治療と仕事の両立に向けた支援を、小児医療センターについては、小児・AYA世代に対する教育、就労、妊孕性温存等の相談体制を充実させる。 入退院支援センターを活用し、入院前から積極的な支援を行うとともに、早い段階から退院後の受入れ医療機関の調整を実施することで、患者満足度と医療の質の向上及び効率的な医療の提供を図る。 															
<p>(2) 積極的な情報発信</p> <p>臨床評価指標（クリニカルインディケーター）などの診療情報や診療内容をホームページや公開講座などを通じて積極的に情報発信すること。</p>	<p>(2) 積極的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院の機能を客観的に表す臨床評価指標（クリニカルインディケーター）等について、ホームページによる情報発信を積極的に行う。 新たな診断技法や治療法について、県民を対象とした公開講座を開催し、医療に関する知識の普及や啓発を行う。 															
<p>(3) 医療の標準化と最適な医療の提供</p> <p>クリニカルパスの適用を推進し、治療内容とスケジュールを明確に示すことで患者の不安を解消するとともに、治療手順の標準化、治療の効率化など医療の質の向上を図り、患者にとって最適な医療を提供すること。</p>	<p>(3) 医療の標準化と最適な医療の提供</p> <p>入院患者の負担軽減及び診療内容の標準化のため、地域医療機関を含めたクリニカルパスの作成、適用及び見直しを進め、治療の効率化と質の高い効果的な医療を提供する。</p>															
	<p>【目標値】クリニカルパス適用率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和7年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環器・呼吸器病センター</td> <td>54.9%</td> <td>60.5%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>41.8%</td> <td>44.0%</td> </tr> <tr> <td>小児医療センター</td> <td>31.0%</td> <td>35.0%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>38.2%</td> <td>40.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和元年度実績	令和7年度目標	循環器・呼吸器病センター	54.9%	60.5%	がんセンター	41.8%	44.0%	小児医療センター	31.0%	35.0%	精神医療センター	38.2%	40.0%
病院名	令和元年度実績	令和7年度目標														
循環器・呼吸器病センター	54.9%	60.5%														
がんセンター	41.8%	44.0%														
小児医療センター	31.0%	35.0%														
精神医療センター	38.2%	40.0%														
<p>3 安全で安心な医療の提供</p> <p>患者の理解と信頼を得た安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策、感染症対策、災害対策等を推進すること。</p>	<p>3 安全で安心な医療の提供</p> <p>医療安全対策、感染症対策及び災害対策等の取組を推進し、患者の理解と信頼を得た安全で安心な医療を提供する。</p>															
<p>(1) 医療安全対策の推進と適切な情報管理</p> <p>安全で安心な医療を提供するため、医療事故などを防止するための医療安全対策を徹底するとともに、医療事故発生時には原因の究明と再発防止を図る体制を確保すること。</p> <p>医療安全文化の醸成に継続的に取り組むこと。</p> <p>個人情報の適切な管理と情報セキュリティの強化に努めること。</p>	<p>(1) 医療安全対策の推進と適切な情報管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師や看護師等の研修の充実及び医療安全ラウンドなど医療安全対策を推進する。 インシデント・アクシデント事例におけるレベル0の積極的な報告を推進し、再発防止策を講じることで重大事故の未然防止に努める。 予測されない事態の発生時には迅速に対応し、状況分析や再発防止策を適切に行う。 医療安全活動を通じたチーム医療の質の向上及び組織における医療安全文化の醸成を図る。 埼玉県個人情報保護条例（平成16年12月21日条例第65号）、埼玉県情報公開条例（平成12年12月26日条例第77号）及びその他の関係法令等を遵守し、カルテなど患者の個人情報を適正に管理する。 情報セキュリティに関する研修を実施するなど、職員の情報管理意識を高め、適切な情報管理に努める。 															
	<p>【目標値】インシデント・アクシデント報告件数に占めるレベル0の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和7年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環器・呼吸器病センター</td> <td>14.2%</td> <td>20.0%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>10.2%</td> <td>12.0%</td> </tr> <tr> <td>小児医療センター</td> <td>18.6%</td> <td>20.0%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>41.7%</td> <td>42.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和元年度実績	令和7年度目標	循環器・呼吸器病センター	14.2%	20.0%	がんセンター	10.2%	12.0%	小児医療センター	18.6%	20.0%	精神医療センター	41.7%	42.0%
病院名	令和元年度実績	令和7年度目標														
循環器・呼吸器病センター	14.2%	20.0%														
がんセンター	10.2%	12.0%														
小児医療センター	18.6%	20.0%														
精神医療センター	41.7%	42.0%														

中期目標	中期計画（素案）															
<p>(2) 感染症対策の強化 院内感染症対策を強化し、感染症管理体制の充実を図るとともに感染症に関する取組を進めること。</p>	<p>(2) 感染症対策の強化 院内感染の発生防止及び拡大防止のため、感染源や感染経路等に 応じた適切な院内感染予防策を実施するなど院内感染対策を充実 する。</p>															
<p>(3) 災害対策の推進 策定したBCPに基づき災害時にも継続的に医療を提供するた めの体制を整備するなど、埼玉県地域防災計画に基づく県立病院 としての役割を果たすこと。</p>	<p>(3) 災害対策の推進 職員が災害時に的確な対応ができるようBCP（事業継続計画） に基づき災害対応訓練を定期的に行うなど、災害時における病院機 能維持と医療救護活動拠点の役割を果たすための体制構築に努め る。</p>															
<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>地方独立行政法人制度の強みである経営体としての柔軟性、自律 性、迅速性を生かしながら、より一層効率的・効果的な業務運営を行 い、経営改善を図ること。</p>	<p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>地方独立行政法人制度の特長である自律性、機動性、透明性を生か し、医療環境の変化に柔軟に対応する業務運営体制を構築する。 高度専門医療の安定的な提供のため、専門資格を有する医療従事者 を確保するとともに働き方改革を推進し、より質が高く安全で効率 的な医療を実現する業務運営を行う。 また、安定した経営基盤を構築するため、収益を確保し、費用を削 減するための経営改善の取組を推進する。</p>															
<p>1 優れた経営体に向けた組織づくり</p> <p>(1) 業務運営体制の構築 病院経営に関する意思決定を主体的かつ迅速に行える組織づく りを進め、医療環境の変化に柔軟に対応できる効率的な業務運営体 制を整備すること。</p> <p>理事会を適正に機能させるなどガバナンスの強化を図ること。</p>	<p>1 優れた経営体に向けた組織づくり</p> <p>(1) 業務運営体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の特性に応じた課題に迅速に取り組むため、病院機構本部 と病院間の適切な権限配分による効率的な組織体制を整備す る。 ・ 経営状況を分析し、医療環境の変化に柔軟に対応するための経 営企画機能を強化する。 ・ 地方独立行政法人としての主体的な運営を実現するため、理事 長のリーダーシップのもと理事会を中心とした法人全体の業務 運営体制を確立する。 ・ 病院機構本部と病院間で経営課題を共有し、法人運営と病院の 特性を踏まえた組織的な対応を決定し、職員に浸透させること でガバナンスを強化する。 															
<p>(2) 業績評価指標による改善活動 医療機能や経営に対する業績評価指標を整備し、その指標に基づ いた医療の提供と病院経営を行うことで、PDCAサイクルを強 化し、中期計画などの目標管理の徹底に努めること。</p>	<p>(2) 業績評価指標による改善活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中期計画及び年度計画に掲げる組織目標の着実な達成に向け て、セクションごとに医療機能や経営に対する業績評価指標を 整備する。 ・ 業績評価指標の活用により、業務の進捗状況や課題を定期的 に把握・評価し、主体的に改善活動を行う。 															
<p>(3) 勤務環境の向上 職員が意欲を持って働き、その能力を十二分に発揮できるよう、 チーム医療体制の推進及び活発なコミュニケーション機会を通じ た組織の活性化に努めること。 職員のワークライフバランスに配慮し、多様で柔軟な働き方を支 援するなど働き方改革の取組を推進すること。</p>	<p>(3) 勤務環境の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 働き方改革を推進するため、医師事務作業補助者や看護補助作 業者へのタスク・シフティングを推進し、IoTやAIの技術を活 用するなど業務の効率化に取り組む。 ・ 勤務時間の適正管理に努めるとともに、労働関係法規の遵守や ハラスメント相談窓口の設置など職員が安心して働ける環境を 整備する。 ・ 職員満足度調査を実施することで職員の意見を的確に把握し、 職員のモチベーションと就労環境の向上に努める。 <p>【目標値】職員満足度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和7年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環器・呼吸器病センター</td> <td>65.1点</td> <td>70.0点</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>61.7点</td> <td>66.0点</td> </tr> <tr> <td>小児医療センター</td> <td>63.2点</td> <td>70.0点</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>72.3点</td> <td>75.0点</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和元年度実績	令和7年度目標	循環器・呼吸器病センター	65.1点	70.0点	がんセンター	61.7点	66.0点	小児医療センター	63.2点	70.0点	精神医療センター	72.3点	75.0点
病院名	令和元年度実績	令和7年度目標														
循環器・呼吸器病センター	65.1点	70.0点														
がんセンター	61.7点	66.0点														
小児医療センター	63.2点	70.0点														
精神医療センター	72.3点	75.0点														

中期目標	中期計画（素案）															
<p>2 人材の確保と資質の向上</p> <p>(1) 医療人材の確保 質の高い医療を継続的に提供するため、専門性が高く成熟した医療人材の確保に努めること。</p>	<p>2 人材の確保と資質の向上</p> <p>(1) 医療人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 優れた人材の確保に向けて、大学などの教育養成機関との連携を強化する。 専門性に応じた処遇を可能とする人事給与制度を構築し、専門資格を有する医療人材を着実に確保し、人材の定着を進める。 ホームページで病院の特長や魅力を発信するなど効果的な広報活動を展開し、適時適切な職員募集を行う。 各病院の特色を活かした研修プログラムの充実を図り、未来の人材確保につながる研修医や実習生を積極的に受け入れる。 医療環境や業務量の変化に即した柔軟なマンパワーを確保するため、短時間勤務など多様な勤務形態の導入を検討する。 															
<p>(2) 人材の育成 優れた人材を育成するため、教育研修機能を充実させ、キャリアパスづくり及び職務に関連する専門資格の取得等をサポートする仕組みづくりを進めること。 研修医及び実習生等を積極的に受け入れ、人材養成に貢献すること。</p> <p>事務職員には、病院運営を支えるため医事や経営等に関する深い専門知識が求められることから、こうした専門性を有した事務職員の確保及び育成に計画的に取り組むこと。</p>	<p>(2) 人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育及び研修体制の充実により、高度専門医療等を担う資質を有した医療人材を育成する。 各職種におけるキャリアパスづくりなどを通じて、職員の医療人としてのキャリアデザイン実現を支援するとともに、着実な専門性の向上を図る。 特定行為研修を修了した看護師や認定看護師など各職種の専門性向上に寄与する資格等の取得推奨と支援体制の充実を図る。 事務職員の計画的な人事異動や専門研修の受講推奨などにより、診療報酬や経営に関する専門性を向上させる。 病院機構としての独自の職員採用については、長期的な視点の中で進めることにより、病院経営に関する優れた人材を段階的に育成していく。 															
<p>(3) 職員の経営参画意識の向上 職員の経営参画意識を醸成し、職員の業務改善に対する意欲を高めるとともに、職員が病院運営に積極的に参画していく仕組みを構築すること。</p>	<p>(3) 職員の経営参画意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の経営参画意識の醸成を図るため、職員が経営ビジョンを理解し、自らのミッションに責任感と使命感を持って主体的に取り組めるよう経営情報を分かりやすく周知する。 職員の目標達成への意欲を高めるため、経営に対する多様なアイデアや業務改善などの職員提案を奨励するとともに、その提案内容を検討し、優れた取組内容を表彰する。 職員の経営に対するモチベーションを上げ、経営改善への取組が病院全体に浸透するよう職員間で取組内容を共有する。 															
<p>3 経営基盤の強化</p> <p>(1) 収入の確保 新規患者の受入れを拡大し、病床の効率的な運用を図ること。</p> <p>診療報酬改定時など、各病院の特性に応じた施設基準を速やかに取得し、収益の確保に努めること。</p> <p>診療報酬の請求漏れの防止や未収金対策の強化を図ること。</p>	<p>3 経営基盤の強化</p> <p>(1) 収入の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の医療機関との前方連携及び後方連携を進め、新規外来患者の受入れの強化と入院患者の増加を図るなど病床の効率的な運用に努める。 診療報酬改定情報やDPC（診断群分類包括評価）などを踏まえた経営分析により、医療の質の向上にもつながる各病院の特性に最適な施設基準を取得する。 適正なレセプト作成に努めることで請求漏れを防止し、診療行為の確実な収益化を図る。 患者自己負担金に係る未収金については、定期的な請求・督促等の債権管理のほか回収業務の専門家への委託なども活用し、早期の回収に努める。 <p>【目標値】新規外来患者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和7年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環器・呼吸器病センター</td> <td>5,312人</td> <td>5,700人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>8,446人</td> <td>8,800人</td> </tr> <tr> <td>小児医療センター</td> <td>12,803人</td> <td>12,000人</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>898人</td> <td>913人</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和元年度実績	令和7年度目標	循環器・呼吸器病センター	5,312人	5,700人	がんセンター	8,446人	8,800人	小児医療センター	12,803人	12,000人	精神医療センター	898人	913人
病院名	令和元年度実績	令和7年度目標														
循環器・呼吸器病センター	5,312人	5,700人														
がんセンター	8,446人	8,800人														
小児医療センター	12,803人	12,000人														
精神医療センター	898人	913人														

中期目標	中期計画（素案）																														
	<p>【目標値】病床利用率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和7年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環器・呼吸器病センター</td> <td>75.2%</td> <td>81.0%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>76.6%</td> <td>82.2%</td> </tr> <tr> <td>小児医療センター</td> <td>81.4%</td> <td>83.5%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>82.9%</td> <td>84.5%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和元年度実績	令和7年度目標	循環器・呼吸器病センター	75.2%	81.0%	がんセンター	76.6%	82.2%	小児医療センター	81.4%	83.5%	精神医療センター	82.9%	84.5%															
病院名	令和元年度実績	令和7年度目標																													
循環器・呼吸器病センター	75.2%	81.0%																													
がんセンター	76.6%	82.2%																													
小児医療センター	81.4%	83.5%																													
精神医療センター	82.9%	84.5%																													
<p>(2) 費用の削減 材料費や経費の削減に努めること。 共同購入組織の最大限の活用や後発医薬品の採用促進など、引き続き費用削減に向けた様々な取組を行うこと。</p>	<p>(2) 費用の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務量に柔軟に対応した職員配置や組織の見直しを行うとともに、働き方改革を推進し、時間外勤務を削減するなど人件費の適正化に努める。 医薬品や診療材料の購入にあたっては、共同購入対象品目の拡大やベンチマークシステムを活用した価格交渉、物流管理システムによる適正な在庫管理を行うなど材料費の削減に取り組む。 医薬品の有効性や安全性に留意しながら後発医薬品の導入を進め、薬品費の削減と患者の経済的負担の軽減を図る。 委託契約にあたっては、競争性を確保するとともに提案方式による業者選定や複数年契約、複合契約などの多様な契約手法を活用し、経費節減を進める。 部門ごとの適切なコスト管理と病院全体のコスト意識向上のため、診療科別原価計算の導入を検討する。 <p>【目標値】材料費対医業収益比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和7年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環器・呼吸器病センター</td> <td>38.7%</td> <td>38.2%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>38.6%</td> <td>38.1%</td> </tr> <tr> <td>小児医療センター</td> <td>31.7%</td> <td>32.0%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>7.2%</td> <td>7.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【目標値】後発医薬品の割合（数量ベース）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和7年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環器・呼吸器病センター</td> <td>94.0%</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>91.8%</td> <td>93.0%</td> </tr> <tr> <td>小児医療センター</td> <td>72.7%</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>64.9%</td> <td>80.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和元年度実績	令和7年度目標	循環器・呼吸器病センター	38.7%	38.2%	がんセンター	38.6%	38.1%	小児医療センター	31.7%	32.0%	精神医療センター	7.2%	7.0%	病院名	令和元年度実績	令和7年度目標	循環器・呼吸器病センター	94.0%	90.0%	がんセンター	91.8%	93.0%	小児医療センター	72.7%	75.0%	精神医療センター	64.9%	80.0%
病院名	令和元年度実績	令和7年度目標																													
循環器・呼吸器病センター	38.7%	38.2%																													
がんセンター	38.6%	38.1%																													
小児医療センター	31.7%	32.0%																													
精神医療センター	7.2%	7.0%																													
病院名	令和元年度実績	令和7年度目標																													
循環器・呼吸器病センター	94.0%	90.0%																													
がんセンター	91.8%	93.0%																													
小児医療センター	72.7%	75.0%																													
精神医療センター	64.9%	80.0%																													
<p>第4 財務内容の改善に関する事項 県立病院としての使命を果たすため業務運営の改善及び効率化を着実に進め、中期目標期間内に経常収支の均衡を達成すること。</p>	<p>第4 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画 病院機構は、県立病院として求められる公的使命を確実に果たすため、県からの適切な運営費負担金を受けて「第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより業務運営の改善及び効率化を進め、中期目標期間内の経常収支均衡を達成する。</p> <p>【目標値】経常収支比率、医業収支比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和7年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>98.2%</td> <td>100%以上</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>76.8%</td> <td>86%以上</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和元年度実績	令和7年度目標	経常収支比率	98.2%	100%以上	医業収支比率	76.8%	86%以上																					
区分	令和元年度実績	令和7年度目標																													
経常収支比率	98.2%	100%以上																													
医業収支比率	76.8%	86%以上																													

中期目標	中期計画（素案）
	<p>1 予算（令和3年度～令和7年度） （略）</p> <p>【人件費の見積もり】 期間中の総額を 139,614 百万円とする。 なお、当該金額は、病院機構の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。</p> <p>【運営費負担金の算定ルール】 救急医療等の行政的経費及び高度医療等の不採算経費については、地方独立行政法人法第 85 条第 1 項の規定により算定された額とする。 なお、長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金は、経常費助成のための運営費負担金とする。</p> <p>2 収支計画（令和3年度～7年度） （略）</p> <p>3 資金計画（令和3年度～7年度） （略）</p> <p>4 移行前の退職給付引当金に関する事項 地方独立行政法人へ移行する前の退職給付引当金の必要額 3,479 百万円については、移行時に 387 百万円を計上し、残りの額 3,092 百万円は、中期目標期間内に全額を計上する。</p>
	<p>第5 短期借入金の限度額</p> <p>1 限度額 10,400 百万円</p> <p>2 想定される短期借入金の発生理由 運営費負担金の受入れ遅延等による一時的な資金不足、想定外の退職者の発生に伴う退職手当等多額の資金需要への対応</p>
	<p>第6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 なし</p>
	<p>第7 剰余金の使途 決算において剰余が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、高度医療を担う人材育成等に充てる。</p>
	<p>第8 料金に関する事項</p> <p>1 診療料等 理事長は利用料及び手数料として次に掲げる額を徴収する。 （略）</p> <p>2 還付 既納の診療料等は還付しない。ただし、理事長は特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。</p> <p>3 減免 理事長は、診療料等の納付について特別の理由があると認めるときは、これを減額し又は免除することができる。</p>
<p>第5 県の保健医療行政への協力と災害発生時の支援 県が進める保健医療行政に積極的に協力すること。</p> <p>新たな感染症などの発生時には、関係機関と連携し、迅速な対応を図ること。</p>	<p>第9 県の保健医療行政への協力と災害発生時の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 埼玉県5か年計画や埼玉県地域保健医療計画を踏まえ、「第2県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」で掲げた事項のほか、県の救急医療における適正受診推進等への取組に協力するなど県が進める保健医療行政に積極的に協力する。 新型コロナウイルスなどの新たな感染症対策として、標準的な予防策及び発生時の初期対応を徹底し、関係機関との連携強化を図るとともに、各病院の機能、特性及び専門人材を活かした取組を推進する。

中期目標	中期計画（素案）						
<p>大規模な災害が発生した場合は、埼玉県立小児医療センター（災害拠点病院、埼玉DMAT指定病院）、埼玉県立精神医療センター（埼玉DPAT先遣隊）はもとより、各病院は救護活動などの対応を迅速かつ適切に行うこと。</p> <p>埼玉県立精神医療センターを災害拠点精神科病院に指定するために必要な整備を行うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県立小児医療センターについては、災害拠点病院及び埼玉DMAT指定病院として、大規模災害発生時には重篤救急患者の受入れや災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣を行う。 災害時に新生児等の搬送のコーディネート機能を担う災害時小児周産期リエゾンを養成する。 埼玉県立精神医療センターについては、DPAT先遣隊登録機関として災害時等においてDPAT先遣隊を派遣する。 災害時に精神科医療を必要とする患者の受入れ及び搬送等を行う災害拠点精神科病院の指定を目指して、必要な施設・設備の整備や運営体制の構築を図る。 						
<p>第6 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>1 法令・社会規範の遵守</p> <p>県立病院としての公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、職員の行動規範と倫理を確立し、法人運営の透明性の確保に努め、適正な運営を行うこと。</p>	<p>第10 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>1 法令・社会規範の遵守</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員一人ひとりが県立病院としての公的使命を認識し、医療法をはじめとする法令を遵守し、高い倫理観を持って社会規範を尊重する。 県民に信頼される県立病院として、法人運営の透明性の確保に努め、業務内容や業務改善等の情報発信に積極的に取り組む。 						
<p>2 計画的な施設及び医療機器の整備</p> <p>施設や医療機器については、県民の医療ニーズや費用対効果等を総合的に勘案し、計画的な整備を実施すること。</p> <p>医療ニーズの変化や医療技術の進展など環境の変化に対応しながら必要に応じて計画等の見直しを行うこと。</p>	<p>2 計画的な施設及び医療機器の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設については、老朽化の度合いや病院運営上の緊急性や必要性等を考慮し計画的に整備する。 医療機器については、県民の医療ニーズや費用対効果、医療技術の進展等を考慮し計画的に更新する。 <table border="1" data-bbox="1079 1323 1871 1457"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設及び医療器機の整備</td> <td>14,095 百万円</td> <td>埼玉県長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table>	内容	予定額	財源	施設及び医療器機の整備	14,095 百万円	埼玉県長期借入金等
内容	予定額	財源					
施設及び医療器機の整備	14,095 百万円	埼玉県長期借入金等					
<p>3 埼玉県立精神医療センター建替えの検討</p> <p>平成2年開設の埼玉県立精神医療センターについては、建物及び設備が老朽化しているため、将来的な精神科医療ニーズも見込んだ環境整備のための建替えの検討を進めること。</p>	<p>3 埼玉県立精神医療センター建替えの検討</p> <p>埼玉県立精神医療センターについては、中期計画期間中の建替えを視野に、将来的な精神科医療ニーズ等を見込んだ検討を進める。</p>						